

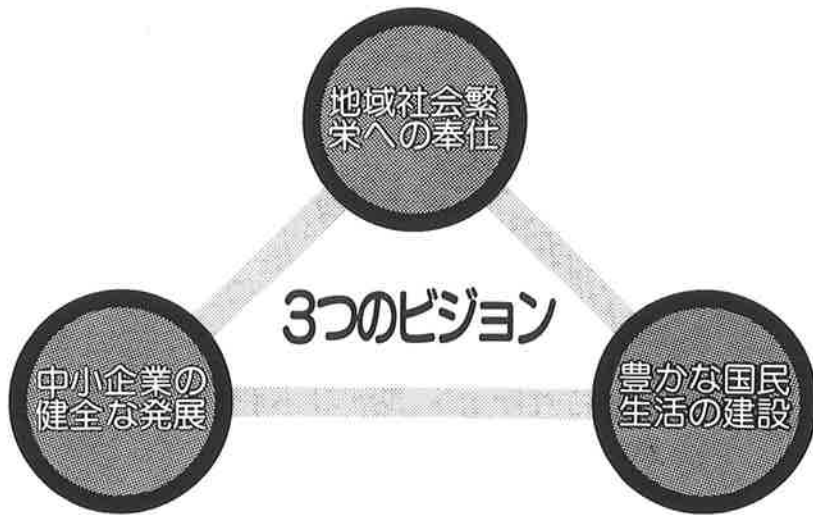
# ともしえ No. 42



■函館商工会議所報■

1984 5月号

繁栄の  
進路をひらく  
商工会議所



はこしんは豊かな暮らしと  
確かな未来の実現に  
お手伝いいたします。



本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241(代)

本 店	函館市豊川町15番20号	TEL22-1247(代)	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL42-3820(代)
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL23-6221(代)	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL51-1711(代)
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL41-6236(代)	上磯支店	上磯郡上磯町字飯生町30番	TEL73-2151(代)
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL52-0511(代)	尻岸内支店	亀田郡尻岸内町字中浜115番の4	TEL84-2111(代)
弁天町支店	函館市弁天町15番6号	TEL26-3646(代)	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL65-2501(代)
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL51-5238(代)	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL木古内 2-3121(代)
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL57-1492(代)	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL知内 5-5611(代)
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL53-5521(代)			

●ととえ・42号目次●

巻頭言	1
会議所だより	2
調査レポート	6
アドバイスコナー	12
寄稿文	14
ご存じますか	16
事務局日誌・雑感	19
ティータイム	20
告知板	22



●巻頭言●

巨星墜つゝの感。永野重雄日商会頭の死を悼む

永野会頭は昨秋、日蒙経済合同委員会議出席先のシドニーで脳こうそくで倒れ、帰国後東京女子医大病院に入院、闘病百五十日、四月九日に退院され、十一日には「所感」を公表し、会頭辞意も発表されましたが、四月末肝不全で再入院し手術を受けた後病状が悪化、遂に五月四日、財界の頂点にあつた不倒翁は逝去されました。

昭和二十七年、藤山愛一郎会頭の要請で日商副会頭となり、昭和四十四年九月、足立正会頭のあとを継いで第十三代日商・第十五代東商会頭に就任、以来十四年八カ月の座にあり、五月十一日東急電鉄社長五島昇副会頭に会頭を譲られる矢先のことでありました。

永野氏は「事業家は頭のどこかに『国家の役に立つ』という考えを置いておかねばならぬ」と言っておりました。高度成長時代の日本の総資本の理念を示す言葉といえるが、その意味で総資本の頂点に立つ人でありました。

多様な価値観と幅広い人間性を持つて経済界で六十年間活躍し、昭和四十五年八幡・富士両製鉄の大合併による新日鉄の創設を初め、環太平洋構想による豪州、アセアン諸国、ソ連との経済交流。第二バナー運河建設問題、インダス川、ナイル川を利用した砂漠の農地化への夢、ジブラルタル海峡の海底トンネルなど将来の平和日本の飛躍を目標としての構想は雄大でありました。

行財政改革の第一歩として慣習に固執している時代錯誤を改めて道州制の必要性を提唱し、中小企業対策として指導体制の強化と無担保無保証のマル経資金融資制度を発足させ、以来十年で融資累計は三兆円に達しています。

役職は約六百と言われ、趣味も極めて広く、弓道、柔道、茶道、囲碁、将棋等のほか多岐にわたり、これらを含めた段数は六十四段という行動範囲は誠に驚くほどです。心からご冥福を祈ります。



# 会議所 だより

## 新会頭に五島昇氏 (日商)

### 第91回議員総会・臨時会員総会開催

日本商工会議所第九十一回議員総会並びに臨時会員総会が、五月十一日(金)午後一時から東商ホール(東京商工会議所ビル四階)で開催され、全国各地商工会議所の代表(本所は川田会頭)が出席、五月四日に他界された永野重雄氏に代わる日本商工会議所第十四代会頭を選任しました。

新会頭には五島昇日商副会頭が選任されましたが、同氏は病氣療養中の永野会頭を補佐するため、去る二月十六日の日商正副会頭会議で臨時会頭代行に選任され、職務を行ってききました。

新会頭に就任した五島会頭は、五月十七日に記者会見し、日商の運営



五島日商会頭

に關しては、副会頭、会員と十分に相談を行ったうえで推進していくと今後の抱負を語り、とりわけ中小企業振興の重点政策については、INS(高度情報処理システム)、VAN(付加価値通信網)利用が本格化した時の中小企業の情報ギャップを防止するよう日商内に企画室を設け援助する。具体的にはオフイスコンピュータ導入時の税制面での優遇措

置や、システム開発などで、中小企業がニューメディアに参入しやすい制度を導入できるよう政府に要望して行くこと述べると、新体制での日商運営にあたって、原点である中小企業の団体であるとの認識に立つての内容でした。

なお、五島会頭は東急グループの総帥として、その手腕を発揮する一方、韓国、マレーシア、台湾など東南アジア諸国との外交を早くから手展を目指す太平洋経済委員会の委員長を務めるなど、幅広い活動を行っています。

### 新会頭の主な経歴

氏名 五島 昇 (ごとうのぼる)  
生年月日 大正5年8月21日  
年齢 67歳  
最終学歴 昭和15年3月  
東京帝国大学経済学部卒

東京急行電鉄株式会社取締役社長  
東急不動産株式会社取締役会長  
株式会社東急百貨店取締役会長  
東急建設株式会社取締役会長

郵政審議会会長  
経済審議会委員  
日本放送協会中央放送番組審議会委員

経済団体連合会常任理事  
日本経営者団体連盟常任理事  
経済同友会幹事  
都市開発協会会長  
太平洋経済委員会日本委員長

# 58年度 七千六百四十五件

## 中小企業相談件数実績まとめ

小規模事業者の経営改善発達をはかるため、国の施策である経営改善普及制度に係わる業務を推進している函館商工会議所中小企業相談所の昭和五十八年度業務実績がまとまりましたので、次にその概要を報告します。

経営指導員十一人が対応した相談総件数は七千六百四十五件、前年度比約二〇%の増となり、本所の行う相談指導業務が広く認識されてきた

### 昭和58年度 中小企業相談所業務概況

#### 経営指導員の相談指導件数

相談指導内容	巡回	窓口	計	構成比
金融	823	2,107	2,930	38.3
税務	243	1,461	1,704	22.3
経理	266	1,182	1,448	18.9
経営	373	350	723	9.5
労働	64	261	325	4.3
引取	8	6	14	0.2
その他	299	202	501	6.6
合計	2,076	5,569	7,645	100%

傾向がうかがわれます。

表で分かる通り、内容では金融相談が多く、以下税務、経理の順となっており、これらは相互に関連する分野ではありますが、この三区分で全体の八割近くを占めています。

また経営改善普及事業としての講習会、講演会等の開催は延べ六十一回、受講人数は延べ二千九百九十二人、弁護士、公認会計士等による個別の専門相談を受けた方は百九十一人となっており、中小企業相談所が幅広く地域商工業者に活用されていることが分ります。

ただ内容的には、紙面の都合上、一番多かった金融相談についてみると、「小企業等経営改善資金」を含め各種制度融資の斡旋延件数は八百三十六件、貸付決定額は三十二億二千九百十三万円となり、対前年比九二%と落ち込みました。業績不振のため必要最少限の資金需要よりなく

### 永野会頭逝く

日本商工会議所永野重雄前会頭が、五月四日午後六時四十分、肝不全のため永眠されました。享年八十三歳。

永野会頭は、昭和二十五年に富士製鉄社長に就任し、昭和四十五年には八幡・富士両製鉄を合併させ現在の新日



在りし日の永野日商會頭（函館市民会館で）

鉄を誕生させるなど経営者として偉大な功績を残すとともに、昭和四十四年九月に日本商工会議所会頭に就任、以来経済界のリーダーとして国内外の諸問題に精力的に取り組んできました。

国内経済においては、特に中小企業の経営安定、小規模事業対策には大きな力を傾注され、昭和四十八年に小規模企業のため、無担保・無保証の小企業等経営改善資金融資制度（経制度を発足させるなどしました。また、国外に対して積極的な民間外交を展開し日ソ・日蒙・日印経済委員会の代表を務めるなどしました。

昭和五十六年八月に第三十一回全道商工会議所大会が函館市民会館で開催されましたが、この大会に来賓として元氣にご出席されたときの元氣な姿が印象に残っています。

偉大な功績を残された永野会頭に衷心から哀悼の意を表しますとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。

長びく、景気の低迷を反映しているものと思われま

近年小規模事業者をめぐる経営環境が急速に変化しつつあり、本所でも小規模企業振興委員との連絡を強化するなど、地域小規模事業者のニ

ーズの適格な把握に務め、相談指導体制の充実をはかってまいります。

相談はすべて無料、秘密厳守となっておりますので、今後ともお気軽に相談所をご利用下さるようおすすめします。

# 農水産品一点などに改善指摘

## 観光土産品審査会・推奨会開く

本格的な観光シーズンを前に、郷土土産品の審査会並びに推奨会が、四月二十七日日本所で開催されました。

審査会は、過大包装や不当表示など「観光函館」のイメージダウンを招く土産品をチェックするため、みなみ北海道地区観光土産品公正取引協議会が毎年行っているものです。

今回は農水産物四十六点、菓子十二点が出品され、消費者協会、公正取引委員会など各方面の専門家による厳正な審査の結果、「改善を要する」もの二点（農水産物）、「改善の余地がある」もの二十七点（農水産物十八、菓子九）が指摘されました。

なお、協議会では出品商品のうち合格あるいは改善されたものに対し「優良土産品認定シール」の貼付を認めておりますので、このシールの貼つてある商品は、観光客に安心して奨められる土産品といえます。

また、引き続き行われた推奨会では、前記審査会で合格した商品に対し、さらに味覚、郷土色、包装デザインなどが吟味され、特に優秀な十一点に別表の各賞が授与されました。これらの商品は「観光函館」のイメージアップに大いに役立ってくれるものと期待されます。

# 華麗に維新行列

## 15回箱館五稜郭祭盛大に

箱館五稜郭祭協賛会（会長川田寛 本商工会議所会頭）主催による第十五回箱館五稜郭祭が、去る五月十一日（碑前祭）、十八日（前夜祭）、十九日、二十日（本祭）の四日間、盛大に行われました。

ペリー来航、箱館戦争など幕末、明治維新の函館を舞台にした一大歴史絵巻を今に伝える箱館五稜郭祭は一八六九年五月十八日、五稜郭が開

第29回函館優良土産品推奨会入賞品

	農水産物の部	菓子の部	民芸品の部
函館市長賞	いか粕漬わさび味噌 鮎角萬共浜谷商店	該当なし	該当なし
函館商工会議所 会頭賞	ししゃもっ子 チーズサーモン ヘルシーサーモン （3点セット） 朝日食品製	白い都 HAKODATE 御末広堂	
みなみ北海道地区 観光土産品公正取引 協議会会長賞	いかまんま 物波辺商店	ほこだてさおれー 物ヤングベーク	
奨励賞	秘造りソーラン漬 よねや食品製 親子御膳 物不二屋本店 フレドニア 葡萄ジャム 物第一食品	該当なし	帆布のれん 元町風景 物第一食品 函館名所板絵素書 物第一食品

い盛り上りを見せました。また、十五周年の記念事業として四年がかりで撮影が進められていた写真集『歴史と祭りとの出会い』は、歴史愛好者のみならず広く一般に好評を博し、雪や小雨の中での撮影や出演者の動員等苦勞の多かった関係者を喜ばせました。

祭を主催した箱館五稜郭祭協賛会では、この祭が「特別史跡五稜郭」を背景に、史実にのっとった全国的にもきわめてユニークな歴史祭であると共に、広く観光客を呼びこめるイベントであるとの認識から、本年の記念祭を機にさらに内容を充実し、道南各町村のかかれた歴史文化を発掘し、この祭との連携を図りながら、広く道南観光を内外にPRするなど、全道・全国的なイベントとして発展させていくため、早くも次の祭に向けてスタートを切りました。

なお、前述しました箱館五稜郭祭十五周年記念写真集『歴史と祭りとの出会い』は、五稜郭タワー（電話五一―四七八五）で実費（一部二千円）で頒布しています。



表彰をうける受託会社功績者一本所会議室で

# 生命共加入促進功績者表彰

## 受託会社・個人に感謝状贈呈

函館商工会議所生命共済事業推進功績者表彰式が、五月十四日、本所会議室で開催され、優秀な成績をおさめた各受託保険会社および担当者（後記）に川田会頭から感謝状と記念品が贈られました。

なお、本所が行う各種共済制度は、低額掛金で高額保障が得られる

優秀なものであり、未加入会員の皆さまの加入をお願いいたします。

### 【団体の部】

三井生命保険（相） 函館支社  
 大同生命保険（相） 函館支社  
 第一生命保険（相） 函館支社  
 千代田生命保険（相） 函館支社  
 日本団体生命保険（株） 函館支社

明治生命保険（相） 函館支社

### 【個人の部】

三井生命 川越勝美、日野節子、白岩澄子、佐藤市子  
 大同生命 渋谷貞子、金谷日出子、齋藤英一  
 第一生命 風穴栄子、千葉保子、鎌田宏子、岩田邦樹  
 千代田生命 館山栄子、田宮栄子  
 日本団体生命 越田紀夫  
 住友生命 佐藤セキ  
 明治生命 岸フミ、橋上ウメ、一条貞子、那須洋子、小飯田隆子

## 鈴木さん 二年連続道南一に

（小牧金 苦信）

### 38回国民珠算道南地区予選開催

去る四月二十二日、第三十八回国民珠算競技大会道南地区予選が本所並びに苦小牧会場の二会場で同時開催されました。

これは五月二十七日、神戸市で開かれる中央大会への地区代表選手を選出するために行われるもので、両会場合わせて四十人の選手が競技委員の合図のもと、いっせいに競技に入りしました。

乗算、除算、見取暗算、乗暗算、

除暗算、見取算、伝票算の各種目で熱戦が展開され、競技の結果、「そろばん道南一」の座には鈴木真弓さん（苦小牧信金）が三年連続の荣誉に輝き日本商工会議所から優勝杯、賞状並びに副賞が授与されました。

また、同日は第十六回全国小学生珠算競技大会も同時に開催され、百九人の選手が参加中、日沼祐子さん（上湯川小）が昨年に引き続き二年連続の荣誉に輝きました。

(株)荏原製作所。(株)神戸製鋼所。神綱電気K.K。  
 (株)椿本チェン。神綱鋼線工業K.K。東洋ベアリングK.K。

特約店

# 株式会社 藪下機械店

函館市豊川町20番5号 ☎ 26-3851

に引き続き3月もかなりの降雪をみたことなどから春物衣料の荷動きが鈍く、3月中の大型小売店（10か店）の売り上げ高は引き続き微増にとどまっている（前年比 $\oplus 1.5\%$ ）。

一方、耐久消費財では、乗用車販売はディーラーの積極的な拡販策等を映じ、月中の販売台数は既往最高を記録（新車登録台数前年比伸び率 $\oplus 14.1\%$ ）。また家電製品もVTRが好売れ行きを示しているほか、冷蔵庫等白もの商品の一部も若干上向いている。

3. 金融事情（3月中および58年度中）

○管内金融機関の実質預金は、公金預金が伸び悩んだものの、一般預金が法人流動性預金の滞留を主因にかなりの積み上りをみたほか、金融機関預金も前年を大幅に上回る増加を示したため、月中増加額は324億円と前年（同289億円）を1割強上回った。

また、58年度中では、公金預金、金融機関預金が増加したものの、主体をなす一般預金は、法人、個人とも伸び悩んだため、年度間増加額は332億円と前年度（同403億円）を2割方下回った。

一方、貸し出しは地方公共団体向けが前年を下回ったものの、一般企業向けは、建設関連の着業資金や自動車ディーラーのつなぎ資金に加え、一部企業の設備資金も

みられ、月中増加額は235億円と前年（同210億円）を若干上回った。

58年度中についてみると、地方公共団体向け貸し出しの減少幅は前年を下回ったが企業の資金需要は設備、運転とも盛り上りに乏しいまま推移したため、年度間増加額は283億円と前年度（同358億円）を大幅に下回った。

この間、管内銀行の貸出約定平均金利は月中 $\Delta 0.040\%$ と引き続き低下（58年度中 $\Delta 0.303\%$ 、55年8月以降の累計 $\Delta 1.575\%$ ）。

○銀行券は月初の還流が鈍かったことに加え、月末にかけて一部官庁の退職金支払いなどにより増発をみたことから前年（2億円の還収超）とは様変りに20億円の発行超となった。

○財政収支は、受け入れが簡保の返済減少等から前年を下回った一方、支払いは国鉄の支払増を主因に前年を上回ったことから受超額は25億円と前年（47億円の受超）比半減。

この間、58年度中では、租税、専売等の受け入れ増加に加え、運用部貸付金減少などから払超額は207億円と前年度（228億円の払超）を下回った。

以 上

統 計 資 料

函館市内第一種大規模小売店舗売上高（10店） 昭和59年3月

品 目	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣 料 品	3,211,241	158.4	99.3
身 回 品	562,122	159.6	89.3
雑 貨	843,782	157.5	102.7
家 庭 用 品	810,242	156.3	103.8
食 料 品	1,838,297	120.1	103.5
食 堂 ・ 喫 茶	219,331	142.1	99.0
サ ー ビ ス	69,417	158.5	101.5
そ の 他	264,200	122.3	151.8
総 額	7,818,632	145.4	101.5

※ 10店とは棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ハイショップホリタ、テオー小笠原、長崎屋、イトヨーカ堂、函館西武、ホリタショップパースプラザ湯の川店の各店をいう。テオー小笠原については食料品を扱っていない。



3月

昭和59年4月25日発表

## 金融経済概況

## 日本銀行函館支店

## 1. 概況

○最近の管内経済動向をみると、造船が海外受注不振から引き続き低操業を余儀なくされ、セメント、段ボール等の生産水準も前年を下回っているなど、全体としてはなお盛り上りに欠けるが電子部品（半導体）、化学（魚油、飼料）等が高操業を継続しているほか、合板機械では受注増を背景に徐々に操業度を引き上げ、また珍味加工も引き続き順調な荷動きを示しており、幾分明るさも窺われる状況。

この間、個人消費面をみると、百貨店売り上げは大雪にも影響された春物衣料品の不振を主因に伸び悩んでいるが、乗用車販売は好伸、また家電製品もVTR等中心にまずまずの売れ行きを示している。

金融面では、企業の資金需要は建設関連の着業資金などがやや増大したが、全体としては引き続き落ち着いている。管内銀行の貸出約定平均金利は引き続き低下。

## 2. 主要業種別動向

## （造船）

橋梁関連等国内の受注は順調ながら、輸出船の受注環境が依然厳しく、低操業を続行。

## （電子部品）

主力のコンピュータ用メモリー型に加え、OA機器、自動車関連の需要も旺盛で引き続きフル操業。

## （珍味）

春先に至り、それまで低迷していた原料イカの価格が上昇に転じ、これに伴い珍味加工筋でも製品価格の若干の値上げを図る動きがみられた。こうした状況下

消費地問屋が行楽需要増を見越し幾分前向きに手当買いを行っていることなどから、荷動きはまず順調。

## （化学）

魚油、飼料は、更年後のスケトウ好漁等を映し手持ち主原料が前年水準を上回っているうえ、海外植物油産地の水害の影響に伴う代替需要増もあって、高水準の生産を継続。肥料は、融雪遅れを映し荷動きが鈍いものの、春耕用需要期前に備蓄生産を行っていることなどから、生産水準はひと頃に比べやや高目となっている。

## （機械）

合板機械は、内需を中心に新規受注が持ち直し気味となっており、手持ち受注残も増加しているところから操業度を徐々に引き上げている。製缶機械は、季節的に飲料関連の受注が減少しているものの、引き続き既受注残の納期に追われており、フル操業を継続。

## （段ボール）

珍味等加工食品向けは引き続き底堅い受注がみられているほか、更年後伸び悩んでいた青果物（馬鈴薯）向け需要もここにきて幾分持ち直してきているが、生産水準は引き続き前年を若干下回っている。

## （その他の製造業）

漁網は、サケ・マス流し網、一般定置網等の出荷が順調であるほか、イカ流し網の備蓄生産を行うなど、操業度を若干引き上げている。

合板は、原木品薄を映し製品市況は強含みに推移しているが、末端実需は今ひとつ盛り上り不足。

セメントは、中近東向けのスポット受注がみられたものの、道内、東北向け出荷が停滞したほか、定期修理を行ったことなどから、生産水準は前年をかなり下回った。

## （小売商況＜3月中＞）

市内大型小売店では、食料品、家庭用品等が順調な売れ行きを示したが、2月

みる企業22.6%でD I 11.5、また、前年同期比では「増加」企業24.8%に対し、「横ばい」企業51.5%、「減少」企業23.7%でD I 1.1と、いずれもD I がプラスを示している。

次に来期の売り上げ見通しを業種別でみると、建設業では今期比D I 0.0、前年同期比D I  $\Delta$ 10.7となっており、冬場の不需求期を脱して若干マイナス幅を狭めた予想となっている。

製造業では、今期比D I 19.2、前年同期比D I 0.0とやや明るい見通しとなっている。特に、水産加工業、飲食品業、窯業・土石製品業では今期比、前年同期比ともに業績好転を見込んでいるが、逆に金属・一般機械器具業、造船業では悪化を予想している。

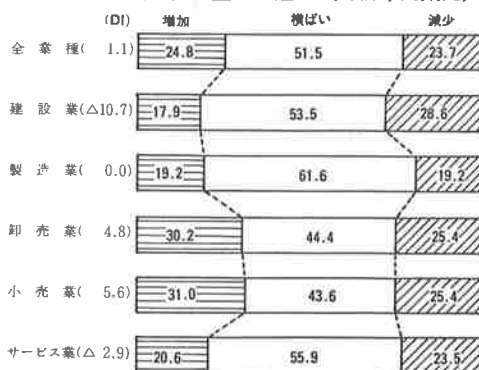
卸売業では、今期比D I 23.9、前年同期比D I 4.8といずれもプラスを示し比較的業績好転を予想している。業種でみると、食品業、医薬品・化粧品業、建築材料業が今期比、前年同期比ともにD I がプラスを示しているが、逆に織物・衣服・身の回り品業、燃料業はマイナスを示している。

小売業では、今期比D I 1.4、前年同期比D I 5.6といずれもD I が若干プラスを示している。業種別にみると、各種商品業、食品業、自動車販売業が、今期比、前年同期比ともに業績好転を見込んでいるが、逆に衣服身の回り品業は悪化を予想している。

サービス業では、今期比D I 2.9、前年同期比D I  $\Delta$ 2.9となっており、いずれもほぼ横ばいの予想となっている。業種でみると、旅館業、自動車整備業では今期比、前年同期

比ともに業績悪化を予想しているが、逆にクリーニング・理美容業、娯楽業では好転を予想している。

図-6 来期の売り上げ見通し(対前年同期比)



### 3. 資金繰りについて

来期の資金繰りについては、全業種で今期に比べ「好転」とみる企業11.1%に対し「悪化」とみる企業11.8%でD I  $\Delta$ 0.7となっており、「変わらない」とみる企業が77.1%あり、ほぼ今期並みに推移される。

業種別にみると、建設業D I  $\Delta$ 3.1、製造業D I  $\Delta$ 2.6、卸売業D I 1.6、小売業D I 2.7、サービス業D I  $\Delta$ 5.7となっており、いずれも「変わらない」とする企業が70%以上を占めており、ほぼ今期並みの予想をしている。

新しい感覚・卓越した先進のシステムを通して  
美しい印刷物をお届けしています

 株式会社 第一印刷

TEL (0138) 23-0101・(040) 函館市末広町1番8号

いる。

このように純利益は、売上不振が大きく影響して採算の悪化基調が続いている。

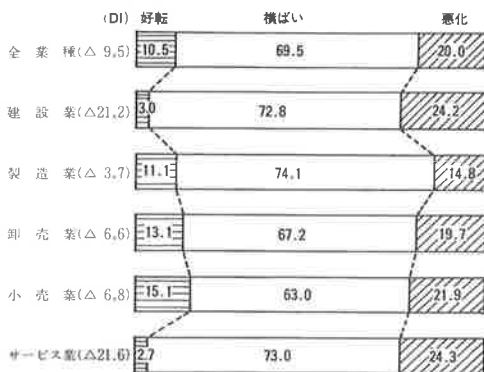
業種別でみると、各業種とも悪化している中で、前期比では小売業の自動車販売業、前年同期比では製造業の水産加工業と飲食料品業、卸売業の食料品業、サービス業の自動車整備業がそれぞれD Iがプラスを示し、採算がやや好転している。

#### 4. 資金繰りについて

今期の資金繰りを全業種でみると、前期に比べ「好転」した企業10.5%に対し、「悪化」した企業20.0%でD I  $\Delta$  9.5となっており、悪化基調に変わりないが、「変らない」とする企業が69.5%であり、ほぼ前期並みに推移している。

業種別にみると、すべての業種でD Iがマイナスを示しているが、特に建設業、サービス業が悪化基調にある。

図-4 今期の資金繰り (対前期比)



#### 5. 経営上の問題点

今期最も苦慮している経営上の問題点としては、やはり「売上・受注の不振」をあげる企業が多く、全業種で41.8%を占めているが、前期より4.9%、前年同期より3.9%減少している。この「売上・受注の不振」を業種別にみると、建設業54.6%、製造業41.1%、卸売業39.2%、小売業44.3%、サービス業29.7%となっている。

他に経営上の問題点をみると、建設業では「工事価格の値下り」12.1%、製造業では「製品安」15.0%、卸売業は「純利益の減少」16.4%、小売業も「純利益の減少」12.5%、サービス業は「客足の減少」17.6%となっている。

少」16.4%、小売業も「純利益の減少」12.5%、サービス業は「客足の減少」17.6%となっている。

#### 来期（4月～6月）の見通し

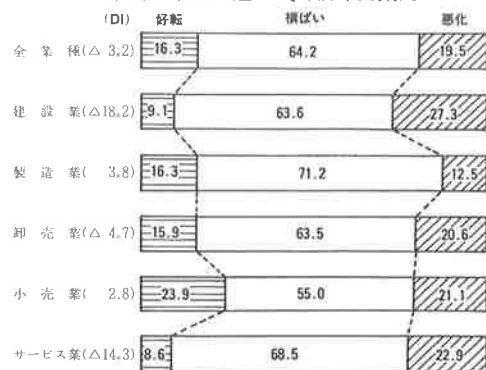
##### 1. 業況について

函館地域の来期業況見通しを全業種でみると、今期に比べ「好転」とみる企業27.4%に対し、「横ばい」企業56.8%、「悪化」とみる企業15.8%でD I 11.6、また、前年同期比でみると、「好転」企業16.3%に対し、「悪化」企業19.5%でD Iが $\Delta$  3.2となっており、前期比ではD Iがプラスを示し、比較的明るい見通しとなっている。

業種別にみると、今期比では建設業D I  $\Delta$  3.1、製造業D I 27.2、卸売業D I 14.3、小売業D I 2.8、サービス業D I 2.8と、建設業以外はすべてD Iがプラスを示しており、特に製造業が好転を予想している。また、前年同期比では、建設業D I  $\Delta$  18.2とサービス業D I  $\Delta$  14.3が悪化を予想しており、他の業種はほぼ前年並みか前年を上回る予想をしている。

このように来期業況は、冬場の不需要期を脱し、公共事業の前倒し発注の効果や消費需要等の増加が期待され、やや明るい兆しを予想している。

図-5 来期の業況見通し (対前年同期比)



##### 2. 売上額について

来期の売り上げ見通しを全業種でみると、今期に比べ「増加」とみる企業34.1%に対し、「横ばい」企業43.3%「減少」とする

る。

また、今期の売上額を前年同期比でみると、全業種では「増加」企業23.6%に対し、「横ばい」企業38.2%、「減少」企業38.2%でD I △14.6となっている。

次に売上額を業種別にみると

### 【建設業】

今期の工事完成額は、前期比でD I △34.4、前年同期比でD I △24.2と依然業績悪化が続いており、特に職別工事業がマイナス幅を拡大している。

このように建設業界は、本格的な積雪期を迎え公共事業が前倒し発注により第3・四半期で97.3%が発注済であり、さらに豪雪と雪解けの遅れから民需の出足も鈍く、厳しい状態が続いている。

### 【製造業】

今期の生産額は、前期比D I △27.5、前年同期比D I △10.1といずれもD I がマイナスを示し、悪化状態が続いている。

業種でみると、前期比では全体的に冬場の不需要期入りによって操業が低下しており、特に木製品・家具業は、D I のマイナス幅が大きくなっている。

また、前年同期比でもD I がマイナスを示している業種が多く、特に漁網業、木製品・家具業、造船業が悪化している。反面、水産加工業、一般機械器具業がD I がプラスを示し前年より好転している。

### 【卸売業】

今期の売上額は、前期比でD I △35.0、前年同期比でD I △11.0といずれもD I がマイナスを示し、業績は悪化している。

業種でみると、医薬品・化粧品業が前期比、前年同期比ともにD I がプラスを示して比較的業績好転をみせており、食料品業も前年同期比ではD I がプラスを示している。しかし、他の業種はすべて、前期比、前年同期比ともにD I がマイナスを示しており、特に建築材料業において業績が悪化している。

### 【小売業】

今期の売上額は、前期比でD I △20.5、前年同期比でD I △9.8といずれもD I がマイナスを示している。

業種でみると、自動車販売業が前期比、前年同期比ともにD I がプラスを示し業績が好転しているが、他の業種はすべてD I がマイナスかゼロを示している。特に衣服・身の回り品販売業は、降雪により春物衣料の荷動きが鈍く、前期比、前年同期比ともにD I が大幅にマイナスを示して業績は悪化傾向を強めている。

### 【サービス業】

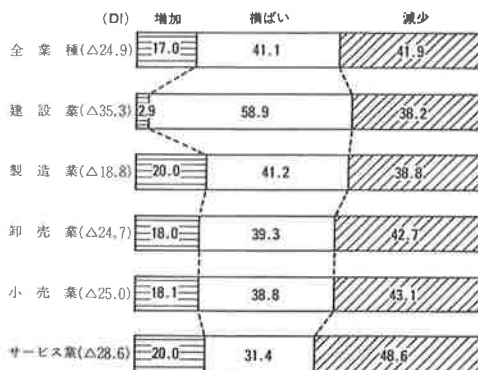
今期の売上額は、前期比D I △32.5、前年同期比D I △29.8といずれもD I が大幅にマイナスを示しており、依然業績悪化が続いている。

業種でも、自動車整備業が前期比、前年同期比ともにD I がゼロを示している以外はすべてマイナスを示している。特に冬場の本格的な不需要期を迎えて、旅館業は一段と厳しさを増している。

## 3. 純利益について

今期の純利益を全業種でみると、前期に比べて「増加」している企業13.0%に対し、「横ばい」企業39.8%、「減少」している企業47.2%でD I が△34.2を示し、前年同期比でも、「減少」企業41.9%が「増加」企業17.0%を上回っており、D I △24.9となって

図-3 今期の純利益 (対前年同期比)



経済の窓

景気動向調査

(昭和58年度 第4・四半期)

昭和58年度第4・四半期(昭和59年1月～3月)の函館における景気動向調査結果がまとまりましたので概況をお知らせします。

なお、調査対象及び回収状況は次の通りです。

業種別	対象企業数	回収企業数	回収率
全業種	395社	302社	76.5%
建設業	50	35	70.0
製造業	100	82	82.0
卸売業	80	65	81.3
小売業	120	83	69.2
サービス業	45	37	82.2

(注) 本調査結果の中でD Iとある記号は、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目について増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)企業割合を差し引いた値を示しています。

今期(1月～3月)の実績

1. 業況について

函館地域企業の今期業況を全業種で見ると、前期に比べ「好転」している企業14.7%に対し、「横ばい」企業40.7%、「悪化」している企業44.6%でD I △29.9となっており、悪化の度合いを深めている。

これを業種別で見ると、建設業D I △33.3、製造業D I △26.3、卸売業D I △45.9、小売業D I △19.0、サービス業D I △29.8とすべての業種でD I がマイナスを示し、冬場の不需要期に入り悪化基調で推移した。特に卸売業が悪化の度合いを深めており、また、前期好転をみせた製造業もD I が大きくマイナスを示している。

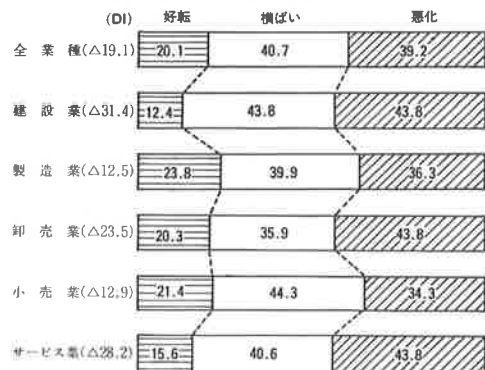
次に、今期の業況を前年同期比で見ると、

全業種では「好転」企業20.1%に対し、「横ばい」企業40.7%、「悪化」企業39.2%でD I △19.1と、前年よりも悪化している。

業種別にみても、すべての業種でD I がマイナスを示しており、特に建設業(D I △31.4)、サービス業(D I △28.2)が悪化基調で推移した。

このように今期の業況は、恒常的な内需不振に加えて豪雪や雪解けの遅れ、ならびに所得の伸び悩み等の影響で、住宅建設も受注の出足が鈍く、個人消費も依然として盛り上りに欠け、さらに公共事業も前期までにはほぼ発注済とあって、一段と厳しさを増している。

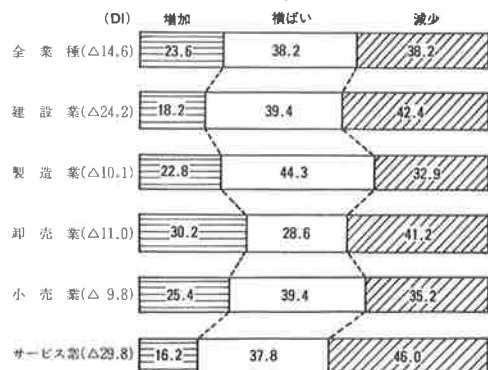
図一 今期の業況(対前年同期比)



2. 売上額(生産・工事完成額)の状況

今期の売上額の状況を全業種で見ると、前期に比べ「増加」している企業18.2%に対し、「横ばい」企業34.7%、「減少」している企業47.1%でD I △28.9を示しており、冬場の不需要期に入り悪化の度合いを深めている。

図二 今期の売上額(対前年同期比)



# ヒント

榮 繁

## これからの サービス業の あり方 (1)

### 一、サービス業の本質

サービス業は、物財+サービスの提供と見ることができ、サービス提供のウエイトの高い、サービスニーズを商品化した業であり、また専門的な施設と技術および商品を顧客に提供して成り立っている企業である。しかし飲食、旅館業で提供する料理がおいしければ、顧客は満足するか、設備が良ければよいか。理美容、クリーニング業で技術が良

く、店舗施設がよければ経営が成り立つか、決してそうではないことも事実である。

サービス業では店舗施設、設備の利用、技術の奉仕といった専門サービス、良質の商品の提供と同時に、顧客に密着した道義的サービスが存在する。経営の重要な点として、サービス業としての道義的サービスの良し悪しが、繁栄する店としない店と区分される要素となっている。この道義的サービスの評価は、ただ単に、礼儀や接客態度、接客話法といった一般的な接客サービスに限らず、顧客ニーズに適合するメニューの提供、適確な技術の提供等のハードウェアの部分と、ソフトウェアとしての、専門的・科学的なサービス業としての知識、情報の提供、カウンセラー的な地位の確立が要求される。例えば理美容院を利用する顧客の目的は、美しく、きれいになるため



理美容技術を受けるのが第一の目的。理美容店はこれを目安として料金設定をしているのが多い。しかし

OA時代の新しいニーズにお応えする

(株) 南北海道電子計算センター

函館市末広町22-1 ☎22-7188

NEC マイコンショップ システムイン南北海道

函館市豊川町7-21 ☎26-9801

NEC 日本電気(株) 函館営業所 ☎52-1177

＝開催中！＝

マイコン教室  
ワープロ教室

●お問合せ・お申し込みは

☎26-9801